



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第49号

平成30年11月5日発行

さ よ う



明るくはばたけ

もくじ

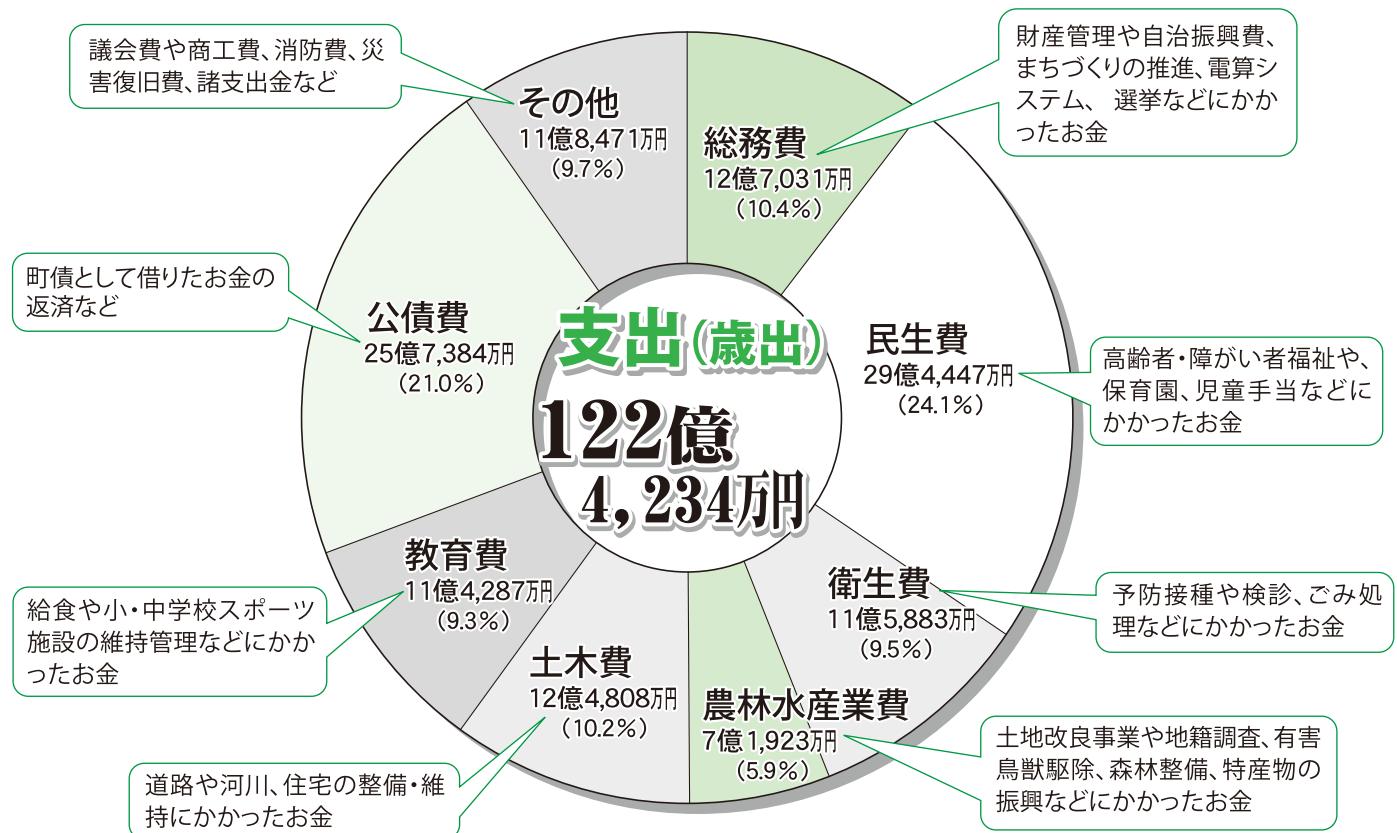
・ 第84回定例会	2
・ 決算特別委員会審査	4
・ 議案審議・第83回臨時会	9
・ 一般質問 9人の議員が斬り込む	11
・ 委員会報告	21
・ 議会の予定、編集後記	裏表紙

安定した運営

認定しました

9月定例会

第84回定例会は、9月3日から25日までの23日間の会期で開かれました。財政健全化判断比率及び資金不足比率等報告2件、専決処理の承認1件、財産の取得、工事請負契約の締結、町道路線分の改正及び平成30年度の認定・変更、条例の認定等議案16件、佐用町一般会計補正の認定1件、佐用町教育委員会教育長の同意1件、人権擁護委員の諮問1件を慎重に審議し、原案のとおり可決承認しました。



滞納状況	
項目	(単位: 千円)
町民税等	122,821
町営住宅使用料等	3,060
保育料	424
住宅新築資金等	71,545
国保税等	72,129
水道使用料	14,592
下水道使用料	20,455
介護保険料	10,721
後期高齢保険料	1,784
合計	317,531

*千円未満切り捨て

町税及び使用料等の滞納金の徴収については、納税者と協議して分納誓約書で徴収に努めています。

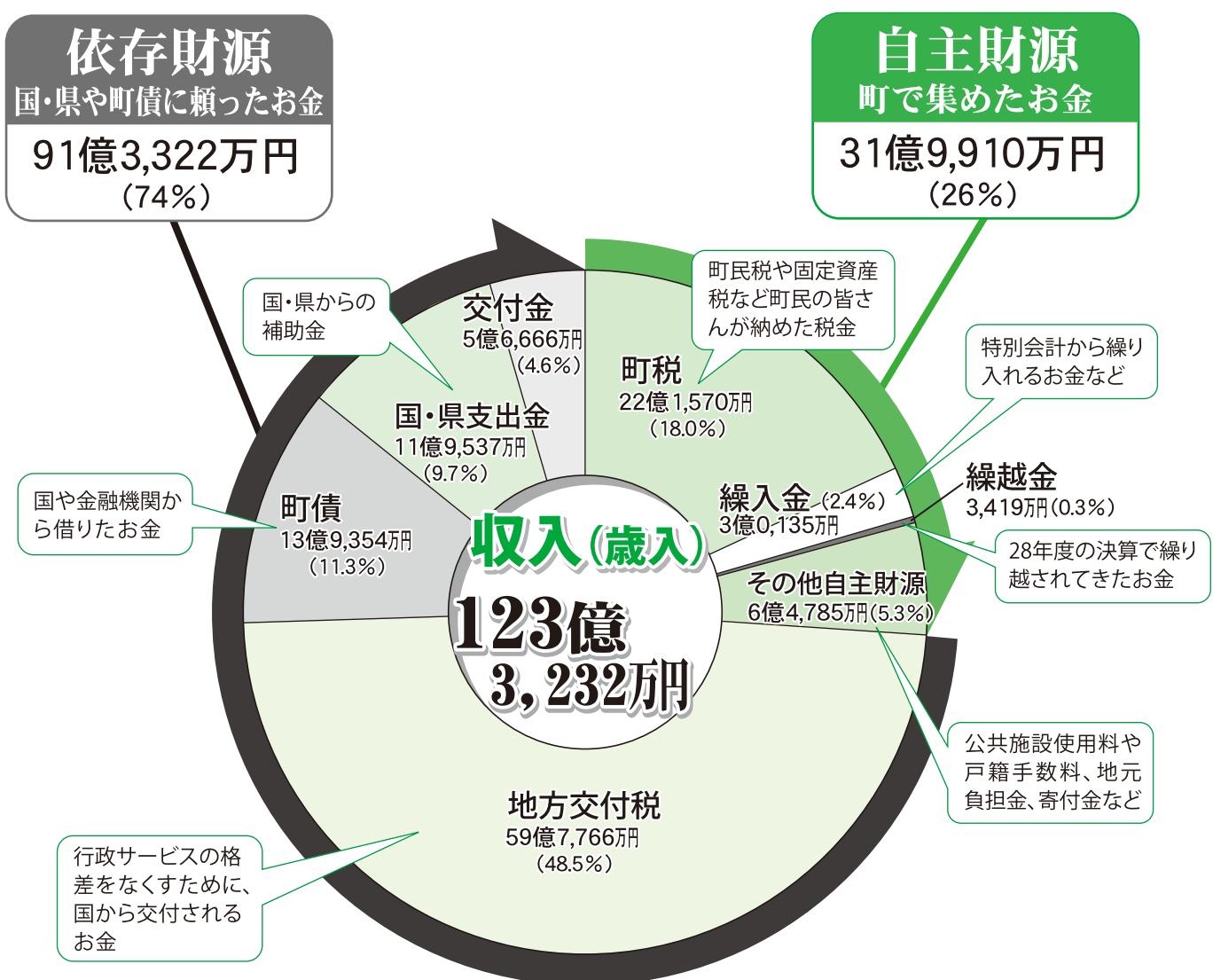
平成29年度各会計決算額(歳出)		
会計名	金額	対前年比
一般会計	12,242,337	△ 6.0
メガソーラー事業	68,438	△ 1.0
国民健康保険	2,432,191	△ 6.1
後期高齢者医療	283,809	1.7
介護保険	2,511,426	6.8
介護保険(サービス事業勘定)	3,713	△ 64.7
朝霧園	108,910	△ 3.3
簡易水道事業	747,863	35.4
特定環境保全公共下水道事業	755,944	3.1
生活排水処理事業	424,718	△ 1.3
西はりま天文台公園	106,044	△ 1.3
笹ヶ丘荘	120,462	△ 11.7
歯科保健	21,960	△ 9.8
宅地造成事業	10,297	1,171.2
石井財産区	102	1,175.0
農業共済事業	96,366	7.9
水道事業会計	136,905	△ 2.6

平成29年度
決算

一般会計歳出決算額 122億4,234万円

効果的な事業。

一般会計決算の状況は



●町民一人あたりの町債(借金)と基金(貯金)の状況

平成30年3月末人口:1万7,172人

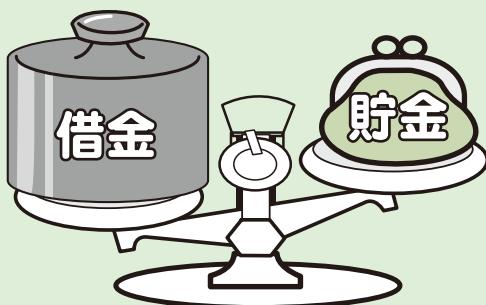
町債 (借金)

220億9,780万円

町民1人あたり

129万円

(前年より5万円減)



基金 (貯金)

101億2,455万円

町民1人あたり

59万円

(前年より3万円増)

決算特別委員会

質疑

平成29年度の一般会計及び特別会計等16会計の決算を、全議員で構成する決算特別委員会を設置して慎重に審査しました。

予算の使われ方、事業効果はどうかなど町当局に説明を求めました。

決算特別委員会 委員長 平岡きぬゑ
副委員長 金澤 孝良

決算審査
9月4・5日

歳入

答 基金が100億円を超えているが有効活用について。
道路、上下水道を含めて公共施設の老朽化が進んでいく。自主財源がない中で基金という形で財源確保をしていかなければならぬ。

答 滞納繰越分の件数と大口滞納者の金額は、件で、滞納と繰り越しをすればならない。

問 大口滞納者の件数と滞納額は、100万円以上は19件で、滞納と繰り越しをすればならない。

一般会計



歳出

答 インターネット利用で昨年度からかなり増えている。人気の返礼品は黒毛和牛、丹波の枝豆などを佐用の特産品である。

問 校舎と体育館の電気使用が同じであるので、分離工事を行っている。また、30年度は校舎の屋根の雨漏り等の補修を行う。

答 佐用鹿青年部に委託はどこに委託しているの

総務費

語学校については、日本語学校とし準備をしていが、生徒募集の入国審査がオリンピックの関係で厳しくなっていると聞いています。

民生費

答 病児保育事業委託料はどこに委託しているの

答 防犯灯工事設置後の対策で、木々等で光がみえない所の対策はどうしているのか。
個人の財産というところがあり難いと感じている。見えにくいところの調査は職員も行い、また地区の申し出により委託作業で対応はしている。



▲日本語学校開設にむけた研修会

衛生費

答 がん検診など昨年と比べて受検者の人数はどうだったのか。
昨年より胃がん検診は若干減っているが肺がん検診は増えている。



▲佐用共立病院の病児保育「なかよし園」

合わせて727件で納税折衝を行っている。地方交付税は、合併後十年経つて縮減されているが、一本算定へむけての縮減額はいくらなのか。

成金がほぼ満額近く執行されているがその内容はなにか。
住宅新築応援金が14件・住宅取得応援金が5件・就職奨励金が37件。
公有財産購入はどこで単価はいくらか。

し、移住促進での空き家案内など行っている。
定住促進支援事業助成金がほぼ満額近く執行されているがその内容はなにか。

名利用日数が37日となっている。生後6ヶ月から小学校6年生まで利用できる。
「なかよし園」という病児保育施設を運営委託している。

340万円の実施状況は。

佐用共立病院の「なかよし園」という病児保育施設を運営委託している。

農林水産業費

問 就農人材等育成・研修は何人が参加し、どうなったのか。

答 「いきいき帰農塾」の名称で実施し野菜コースに21名、果樹コースに20名。

商工費

問 商店街活性化・強化活動支援事業の中の後継者育成支援事業助成金200万円が固定経費のようになっているが事業計画により増減するのではないか。

答 青年部と女性部に100万円、スタンプラリーとして20万円、ウエブサイトに20万円助成している。それぞれ事業計画書で審査している。

土木費

問 急傾斜地崩壊対策事業負担金の内容について、町内で要望箇所がどのくらいあるのか。

答 年々進歩しているので、それに応じて研修しなければならない。またソフトが毎年のように変わつて導入の件を考える

答 年間1、2件あるが、

とコストが非常に高くなつた。

費負担金が増額されるが、その要因はなにか。

仕入れなのか。

採択要件は、10戸以上、30度以上傾斜があり、法面の高さが5メートル以上などがある。要望があ

れば県に検討してもらつてある。

く。公有財産購入費で土地購入費494万8千円はどこなのか。

答 乃井野陣屋館・表門の移築復元工事に伴う土地購入である。

答 公有財産購入費で土地購入費494万8千円はどこなのか。

答 処遇改善加算で、29年度もなお一層加算率が上がっている要因もある。

また、合宿のお弁当代な

結果・賛成多数 認定

結果・賛成多数 認定

農業共済特別会計

問 ロツジの使用状況はどうなのか。

答 公用車の更新と車両

多め、家族・グループツジが8月は1,764人である。少ないのが1

月、2月で200人を割つている。

問 特別損失9万1,17円の要因と内容はなにのか。

答 畜産農家での牛が死亡したのはどのような原因で、その数は想定範囲にならぬ。



▲平福でのワークショップ

特別会計

国民健康保険特別会計

問 特定検診の向上に向けてどのような取り組みをしているのか。

答 特定検診、がん検診

とあわせて年間14日間、南光文化センターで行っている。国民健康保険の加入者には通知を出して受診を進めているが、若い世代の受診が少ない。

答 29年度に計画策定に着手した。策定の目標を31年度早々にまとめる。

結果・賛成多数 認定

問 介護保険特別会計
介護保険サービス給付

結果・賛成多数 認定

問 箕ヶ丘荘特別会計
結果・全員賛成 認定

問 夏休み等はサッカーの利用が多く、一般客の宿泊や休憩利用ができることがありますがあるようだが、

内なのかな。

答 昨年度、死亡事故は110頭である。原因については通常の死亡と捉えているし、数については想定内である。

問 農業共済特別会計
結果・全員賛成 認定

答 8月が4,466人の利用である。やはり休み中の利用が多い。

問 需用費の、賄材料費3,200万円は食材の

答 ジュース、お茶、牛乳、お酒などの飲み物や売店にかかる仕入れもこから支出している。

平成29年度

こんなことに使われました



▲新設された岩崎橋(真宗)



▲移築復原された表門



▲大阪で開催された
「ひまわりオイルサミット」



▲空き家調査



▲いきいき帰農塾果樹コース講習



▲改修された町民プール「あめんぼ」

決算認定

反対

基金は住民のために活用を

金谷 英志

賛成

安定した行財政運営

小林 裕和

反対

「高すぎる保険税」の引き下げを

金谷 英志

賛成

保険給付基金への積立てが大きく評価できる

石堂 基

反対

保険料は引き下げを

児玉 雅善

賛成

高齢者が安心して医療を受けるために必要な制度

加古原瑞樹

基金は、昨年度からさらに積み増し、基金総額年度末現在高101億2450万円にもなる。そして、地方交付税の一本算定との差額は8億円に縮まっており、一本算定に伴う地方交付税の大幅減額に備えての基金の積み立ての根拠は崩れてい

る。

監査委員の審査意見書及び先の決算特別委員会で慎重に審議した通り、各分野にわたる予算編成により、適正かつ効果的に執行され安定した財政運営がなされている。

総合計画等に基づく各施策の実施には、安定した行財政の基盤は重要で、合併特例債や過疎対策事業債等による効果的な財源確保も認められる。

國保は、他の協会けんぽ等の公的医療保険に比べて、高齢者や低所得者が多く加入しているという構造的な問題を抱えている。「高すぎる保険税」は、町民が必要な医療を受ける大きな障害になつており、保険料の引き下げは喫緊の課題だ。

國庫負担を大幅に増やすことが第一義であり、町としては一般会計からの繰り入れで加入者の負担軽減を図るべきであった。

後期高齢者医療制度は、引き上げるのではないか、下げる必要がある。後期高齢者医療保険料は、引き上げるのではないか、下げる必要がある。

基金の貯め込みや公債費での繰り上げ償還ではなく、今の住民が求める事業への活用を図るべきであった。

國保は、他の協会けんぽ等の公的医療保険に比べて、高齢者や低所得者が多く加入しているとい

う構造的な問題を抱えている。「高すぎる保険税」は、町民が必要な医療を受ける大きな障害になつており、保険料の引き下げは喫緊の課題だ。

國庫負担を大幅に増やすことが第一義であり、町としては一般会計からの繰り入れで加入者の負担軽減を図るべきであった。

後期高齢者医療保険料の納付金約2億6,881万円がほとんどであり、本町の高齢者が安心して適切な医療を受けられるために必要な財源として使われており賛成する。

反対

高齢者の生活を圧迫する

金谷 英志

賛成

繰入により、安心してサービスを受けられた

千種 和英

国庫負担割合の引き上げが第一義ではあるが、一般会計からの繰り入れで保険料の軽減を行うべきであった。一般会計からの繰り入れは、政府は認めている。

期を経ることに保険料は引き上げられており、29年度の介護保険料は基準月額5,600円になっている。否応なしの年金からの天引きで高齢者の生活を圧迫する制度である。

制度運用開始から18年を経た介護保険事業は、第6期介護保険事業計画の最終年度である。

高齢化が進み多くの被保険者が生活をされている現状に対応できるよう介護福祉施設も充実し、介護サービスを受けやすい環境にある。3億8千900万円の当初予算から大幅に増額補正した4億4千万円余りの繰入の結果、安心してサービスを受けられた。

今後も厳しい財政運営が続くが、介護予防の重点化にも注力し、住民が引き続き安心できる制度の運用を求め賛成する。

9月定例会 決算認定採決状況一覧

○賛成 ×反対 ※議長(山本幹雄)は同数以外採決に加わりません

議案名	議員名	金澤	児玉	加古原	千種	小林	廣利	竹内	岡本	岡本	西岡	平岡	山本
		孝良	雅善	瑞樹	和英	裕和	一志	日出夫	義次	英志	安夫	きぬ	幹雄
一般会計		○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
国民健康保険特別会計		○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
後期高齢者医療特別会計		○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
介護保険特別会計		○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
メガソーラー事業収入特別会計、朝霧園特別会計、簡易水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、生活排水処理事業特別会計、西はりま天文台公園特別会計、笠ヶ丘荘特別会計、歯科保健特別会計、宅地造成事業特別会計、石井財産区特別会計、農業共済事業特別会計、水道事業会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

決算監査報告(要旨)
足腰の強い行財政基盤の確立を目指し

一層の努力を



代表監査委員 横本 忠美

①より効率的・効果的な事務事業の執行を

住民の視点に立ったより効率的かつ効果的な行政サービスの提供を目指し、事務事業の徹底的な精査と不斷の見直しに努力されたい。

②子育て・教育環境の充実と文化財の保存活用について

子育て支援と教育環境の充実については、町独自でも取り組んでおり、徐々に成果が表れてくることを期待している。

また、文化財保護への積極的な取組を評価し、徐々に成果が表れてくることを期待している。

支援について

多くの施設が指定管理

④保育園・小学校の統廃合に伴う施設跡地利活用について

多くの施設・跡地が無償貸付けで法人等により有効活用されている。

⑤安心・安全のまちづくりについて

る住民の雇用や地域の賑わいなど、好循環につながることを見守りたい。

③公共施設の適正管理・

自助・共助・公助への取り組みを一層推進し、安心安全で、永続的で安定した行財政運営に努力されたい。

9月定例会議案審議

9月定例会では、財産の取得や工事請負契約の締結、条例の改正、平成30年度補正予算、町道路線の変更・認定など42件の議案と報告や諮問、承認の審議を行いました。

議案

□財産の取得
事務用パソコンのサポート期限終了に伴い、府内用210台及び周辺機器の更新を行なう。

契約金額
26,773千円
契約相手 扶桑電通(株)



▲設備改修予定の奥海浄水場

□工事請負契約の締結

情報通信放送系機器の補修期限満了及びケーブルテレビの4K・8K対応として更新を行なう。

契約金額
248,400千円
契約相手 日本電気(株)

・水質基準の変更に伴い適合困難な奥海浄水場の浄化施設を改修する。

契約金額
61,128千円
契約相手 前澤工業(株)

□町道路線の認定
集落生活道としての効用が認められたため新規路線として町道に認定した。

○町道寺下線(上石井)
延長 105m

○町道祇園西村線

(三日月)

□町道路線変更

集落生活道の利用変更が認められたため終点を変更した。

○町道溝下夕線(上石井)
延長 126m増
延長 50m減

□ひなくらリフレッシュビレッジ施設条例の全部改正
この改正は、「みどりの健康舎ゆう・あい・いしい」の閉鎖に伴う関係条例の整理です。

□ひなくらリフレッシュビレッジ施設条例の全部改正
この改正は、「みどりの健康舎ゆう・あい・いしい」の閉鎖に伴う関係条例の整理です。

□ひなくらリフレッシュビレッジ施設条例の全部改正
細は委員会報告に記載



▲閉鎖したゆう・あい・いしい本館
この改正は、「みどりの健康舎ゆう・あい・いしい」の閉鎖に伴う関係条例の整理です。

□佐用町福祉医療費助成条例改正
この条例改正は、県の福祉医療費助成事業実施要綱の改正に伴うものであります。

□佐用町教育委員会教育長の任命同意
任期満了に伴う新たに教育長の任命に同意しました。

□佐用町教育委員会教育長の任命同意
任期満了に伴う新たに教育長の任命に同意しました。

質問

□家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基本準則を定める条例改正

この改正は、「子育て支援新制度」に基づき行なわれている、家庭的保

育事業の推進を図るために行なわれました。(詳細は委員会報告に記載)

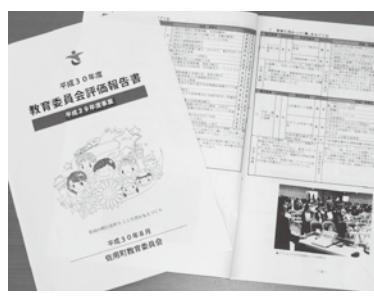
□人権擁護委員の推薦

この改正は、「子育て支援新制度」に基づき行

育事業の推進を図るために行なわれました。(詳細は委員会報告に記載)

□健全化判断比率及び資金不足比率の報告

平成29年度決算に基づく佐用町の「健全化判断比率」は別表のとおり



▲教育委員会評価報告書

同意

□佐用町職員の給与に関する条例改正
今回の改正は、兵庫県が定める最低賃金が改定されるためのものです。

□佐用町職員の給与に関する条例改正
今回の改正は、兵庫県が定める最低賃金が改定されるためのものです。

□教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会より委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価が行われる議会に対して報告されました。

□教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会より委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価が行われる議会に対して報告されました。

報告

□教育委員会評価報告書

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会より委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価が行われる議会に対して報告されました。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会より委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価が行われる議会に対して報告されました。

1 健全化判断比率

(単位：%)

区分	平成29年度決算	平成28年度決算	早期健全化基準	財政再生基準	備考
①実質赤字比率	-	-	13.64	20.00	実質赤字額なし (実質黒字比率 0.80)
②連結実質赤字比率	-	-	18.64	30.00	実質赤字額なし (実質黒字比率 7.93)
③実質公債費比率	6.6	7.6	25.0	35.0	
④将来負担比率	-	-	350.0		

【各指標の意味】

実質赤字比率	一般会計等の赤字の程度を指標化し財政運営の深刻度を示す。
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体の赤字の程度を指標化し、運営の深刻度を示す。
実質公債費比率	借入金の返済額、及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す。
将来負担比率	一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す。

いずれも数字が大きいほど財政状況が悪いということになります。

平成30年7豪雨による被災件数

	被災区分	農地	農道	用水路	その他	合計
地区	上月	16	9	10	23	58
	佐用	44	0	41	47	132
	南光	53	4	48	45	150
	三日月	14	2	6	27	49
	合計	127	15	105	142	389

平成30年度一般会計補正予算額(歳出) (単位:千円)

予算費目	(款)補正額	主たる要因
一般会計	414,021	
内訳	議会費	△50
	総務費	△6,673
	民生費	99,916
	衛生費	9,450
	農林水産業費	19,316
	商工費	△4,640
	土木費	36,379
	消防費	△3,704
	教育費	5,527
	災害復旧費	258,500

で、実質赤字比率と連結実質赤字比率については、黒字決算であるため該当なしです。実質公債比率と将来負担比率は早期健全化基準

未満となっています。また、公営企業会計の「資金不足比率」も、全ての会計に資金不足は発生しません。

□専決処分の承認（30年度一般会計補正予算第2号）

今回の補正予算は、台風災害発生に伴つもので、公共土木施設災害及び町単独災害復旧事業費関連を計上したものです。

承認

平成30年度補正予算

は、4月に行なわれた職員の人事異動に伴う人件費の調整が行なわれるとともに、総務費では旧幕

山小学校の電気設備改修工事費が追加され、民生費では「佐用朝霧園」移転事業に必要な実施設計費・土地購入費が追加されました。

南光地域の町道水路蓋のズレ防止がなされていなかつた為、軽自動車が通過中に外れ車両底部に損害を与えたもの。損害賠償額58万9,064円

結果・全員賛成認定

□損害賠償の額を定め和解

第83回臨時会

一般質問



9月11・12日、9人の議員が町政をただしました。

佐用町のこころが聞きたい

9人の議員が斬りこむ

●廣利一志 議員	12
①太陽光パネル発電（事業用）規制の条例を	
②「人口ビジョン」、「総合計画」の修正が必要では	
●平岡きぬゑ 議員	13
①災害から命と暮らしを守る対策について	
●金谷英志 議員	14
①小・中学校教師の多忙化解消の取り組みは	
②7月豪雨被災県道の防災整備を県に要請を	
●石堂 基 議員	15
①森林整備の新たな展開を考える	
●竹内日出夫 議員	16
①乳幼児健診における小児がんの早期発見について	
②防犯カメラの増設について	
●岡本義次 議員	17
①企業誘致について	
②山桜やとちの実がなる山の実態は？	
●加古原瑞樹 議員	18
①地域防災力の向上を	
●千種和英 議員	19
①佐用町台風第9号災害検証委員会による提言への対応結果と継続は	
②佐用町南光ひまわり祭りの今年の結果と今後の取組みは	
●児玉雅善 議員	20
①本町における障害者雇用の実態について	
②利神城跡等の景観保全について	

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。
なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

太陽光パネル規制条例を

町長——県条例で対応する



▲山の斜面の太陽光パネル

問 今回の豪雨で太陽光

パネル設置場所の神戸、姫路で地滑りがあり、本町でも条例化が必要では

ないか。

町長 昨年の県の条例施行で本町も規制対象であ

り、独自では必要ない。

問 近隣の市町でも条例化が進んでいるが。

町長 専門的な職員がないので県に任せる形が良いと思う。

問 町内の事業用パネルの実態把握は。

町長 10キロワット以上で法人が47件、個人が50

人を把握している。

問 危険個所にパネルが設置され、佐用上町、下徳久地区の皆さんが危惧されているが。

町長 県の指導を見守りたい。県条例の問題点は、改正されて60%の森林を残すことが明記さ

れ改善された。

問 町は太陽光パネル発電について積極的なので、規制の条例化には後ろ向きなのでは。

町長 条例について必要性があれば考えるが、現在は県条例があるので、独自の条例は必要ない。

問 「人口ビジョン」、「総合計画」の修正を

000人としているが、予測を超えて減少していく。見直しが必要だ。

町長 目標達成は困難と認識している。目標人口は科学的にやむを得ない。基本方針、取り組むべき方向は間違っていないので、変える理由はない。

来年度見直しの際、国立社会保障・人口問題研究所推計をもとに見直したい。

問 総合計画では町の人口推計を平成32年1,6300人、平成37年1,5

町長 不安要因の一つは、マスコミ報道だと思って

いる。消滅自治体という事で誤解されているが、佐用町が消滅することはない。人口減少という移行期、行政コストを見合う形にすることで対応を考えないといけないと思っている。

町長 新規起業の支援をつとめるべきだ。

町長 今まで十分だと思っていない。起業支援策について担当課でもつと研究すべき課題だと

ひろかが か ずし
廣利 一志 議員



▲元気に開催された中学校運動会

災害から命と暮らしを守る対策を

町長－避難所など実態把握に努める



ひらおか
平岡 きぬゑ 議員

問 指定避難所の開設と運営、避難者への飲料水などの支援は。

町長 従来の避難準備から避難準備高齢者避難開始に名称が変わった。指定避難所は、各学校の体育馆で町内10ヶ所。運営は、学校の先生と町職員の2名体制。食事の提供は長期化する場合に手配する初動避難時の食料などを自分で準備する。

問 一時避難所や自宅の安全な場所への避難など実態把握は出来ていない。災害時個別計画は各自治会で作成される。今後、自治会からの届け出で町として把握すること必要だ。

企画防災課長 災害発生後いつたん指定避難所へ避難し、保健師が対応した後に福祉避難所に移動する。

問 行政無線が聞き取りにくいとの声を聞いているが実態は。



▲山からの水で土砂が道を流れる、多賀丸尾集会所横（7月8日撮影）

問 全町域への避難勧告は細かくならないのか。

町長 気象情報で発令する。地域限定期間はない。

問 支援が必要な方で、避難が無いように対応できないか。

問 大規模な河川改修済みの地域は、今回被害は無かつたが、原形復旧だけでは、以前の被害箇所で被害が発生している。河川改修強化の声があるが対応は。

町長 県は河川断面の3分の1以上の埋設土砂が発生した場合、危険度が

総務課長 ノイズが発生する場合もある。Jアラートは聞き取りにくいとの声はある。

問 全町域へ避難勧告は細かくならないのか。

町長 気象情報で発令する。地域限定期間はない。

問 支援が必要な方で、避難が無いように対応できないか。

企画防災課長 災害発生後いつたん指定避難所へ避難し、保健師が対応した後に福祉避難所に移動する。

問 行政無線が聞き取りにくいとの声を聞いているが実態は。

町長 全国で災害が発生し、財政的に制度拡充は難しい。



▲千種川の水が田に溢れる下三河（7月7日撮影）

高いところから土砂の浚渫を行っているが、土砂処分場所確保に苦慮している。

教師の多忙化解消の取り組みは



教育長——勤務時間管理が第一歩

教育長——勤務時間管理が第一歩

文科省は今年2月、「学校における業務改善及び勤務時間等に関する取り組みの徹底」との通知を出している。この中で「教育委員会は、時間外勤務の短縮に向けた業務改善方針・計画を策定すること」としている。

計画は立てているか。
問 教育長

通知が来る以前から取り組んでいる。教師の仕事というのは終わらないが、それをどこで切をつけるか大まかな基準を決めているが、まずは勤務時間の記録簿をき

ちっと取ることが計画の第一歩と考えている。

通知では、「教育委員会の事務職員が、積極的に業務改善や学校運営に参画すべき」とあるが。

職員と教師が「チーム学校」というポリシーをもって参画を推進している。

問 「チーム



▲クラブ活動・三日月中学校

が行えるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの確保が必要ではないか。

教育長 全ての小中学校に配置はしていない。全国の自治体で取り合いになっている状況で、置いている学校では高評価を得ている。

問 中学校の部活動が教員の多忙化の一つの要因となっている。学校の教育方針を共有した上で、部活動指導員など外部人材の積極的な参画を「通知」では指摘しているがどうか。

かなたに えいし
金谷 英志 議員



▲県道千種新宮線・志文

が行えるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの確保が必要ではないか。

教育長 学校から外部指導員の要請はなく、現在は置いていない。部活動というのは技だけを教えるものではない、人材確保が難しい。協力する人があれば歓迎し、各学校に連絡したい。

問 中学校の部活動が教員の多忙化の一つの要因となっている。学校の教育方針を共有した上で、部活動指導員など外部人材の積極的な参画を「通知」では指摘しているがどうか。

問 7月の豪雨で県道は、40カ所以上の被害が

あつた。その中で、①後山上石井線・奥海、②吉永下徳久線・中島、③千種新宮線・志文の3カ所については、防災上の整備を要請すべきではないか。

町長 この箇所は県も十分承知している。改良について県の予算も限られており、優先順位が難しい。

町長 この箇所は県も十分承知している。改良について県の予算も限られており、優先順位が難しい。

森林環境はだれが守るのか

町長—町が責任主体となる事業を考える

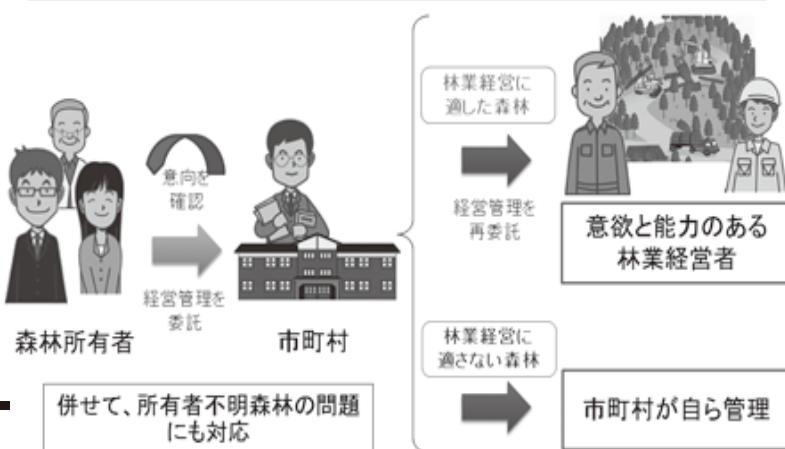


いしどう もとい
石堂 基 議員

町長 町内森林の多くは、戦後や高度経済成長期に植栽されたスギやヒノキなどの人工林が大きく育められていると思つ。

本年5月に「森林經營管理法」が成立し、平成31年4月から施行され「新たな森林管理システム」がスタートしようとしている。この法案とセットになる「森林環境税」も2024年から住民税に一律千円上乗せされることもすでに閣議決定され、その一部は来年度からは譲与税として自治体配分も行われる。こうした一連の動きは過去にないもので、荒廃が進む森林管理を各自治体が主体となり進める事が求められていると思つ。

経営管理が行われていない森林について市町村が仲介役となり森林所有者と林业経営者をつなぐシステムを構築し担い手を探します



▲「新たな森林管理システム」のイメージ

問 本町では、森林組合への強化助成や町単独造林補助の創設、林业体の育成、「木の駅制度」の実施など多くの政策を進め、

適切な経営管理が行われることにより、災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能の維持にも支障が生じ、さらに所有者不明や境界不明等の課題もあり、公共事業計画時や森林の管理に非常に多くの労力が必要になるといった事態も発生している。

今回の法改正は、適切な経営管理が行われていない森林を、意欲と能力のある林业経営者に集積・集約化するとともに、それができない森林の經營管理を町が行うことでも、森林環境の保全と林业の成長産業化を図ることが目的とされている。



▲木材の活用も進んでいる

素材生産量も増加している状況だが、さらに今回の「森林管理システム」や「森林環境税」を活用した新たな取り組みが必要と考える。

町長

今回の制度改正は本町の林业政策でも大きな転換期であり、継続的な財源も予定されていることから、町が森林の管理主体となれるような積極的な取り組みを進めた。先ずは、森林所有者の意識調査などをを行い、皆さんの意向に沿える政策を検討したい。

乳幼児健診時に小児がんの早期発見策を



町長——全ての疾病の早期発見に努めている

町長——全ての疾病の早期発見に努めている

問 我が国では小児の死亡原因の第一位はがんとなっている。小児がんの患者と家族は、発育や教育への対応など成人のがん患者とは異なる課題を抱えている。

国では、昨年より全国15か所に小児がん拠点病院を指定し、質の高い医療の提供と相談体制の充実を図っている。

小児がん早期発見のためどのような取り組みを行っているのか。

町長 健診日に保護者の問診に加え、体格や身体

の各部位および、精神発達の状況などについて、医師の診察を実施して乳幼児の身体の成長、健康の保持増進状況を確認している。

問 小児がんの中には網膜芽細胞腫という目のがある。

腫瘍が眼球内にとどまつていて、眼球を摘出しないで、可能な限り残す方針で治療することが多いといわれている。

網膜芽細胞腫は白色瞳孔や斜視などの症状が現れる。早期発見のため、

乳幼児健診の医師検診アンケートの「眼」の項目に「白色瞳孔」を追加してはどうか。

町長 眼に関する検査内容として、斜視、眼瞼下垂、白色瞳孔などは、従来から医師の所見項目として取り入れている。



▲乳幼児健診の様子

防犯カメラの増設を

問 本年7月、大阪府の住宅街で新聞配達中の女性が少年に刃物で刺され重傷を負った事件の解決にも、防犯カメラが大きく役立っていたことが報道された。

本町では、年間70件近い事件が発生している。町南部には沢山の防犯カメラが設置されている。

小さな自治会にとっては、県と町から助成があ

るが負担になると思う。安全で安心して暮らせる町づくりのためにも、是非防犯カメラの増設を検討願いたい。

町長 現在、申請が3件あり、今後、県と町の助成を活用して、防犯カメラの増設を図っていきたい。

戸数の少ない集落は、隣接の集落と共同設置を検討して頂きたいと考えている。



▲町設置の市ノ上交差点の防犯カメラ

活性化には働く場所の確保が一番だ

町長－通勤圏のテクノが核だと思う



おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員



▲寄付を受けた家内の土地

日本海の交通不便地の平地の少ない京丹後に来て、佐用には中国道のインターがあり、鳥取道、智頭急行、姫新線、国道373号、179号の交通要所なのに企業が来ないのは、危機感がないからであり、町はどのように努力をしたのか。

日本内の寄付を受けた約1万m²の土地も草がはえて放置されている。

町の土地価格が下がり、一部の地域では金融機関が担保にも取らない、歳老いて、田畠を作れない、ほ場整備した田でも放置の所がある。

そういう田畠を集め約1万m²の土地を割り、集落不在地が次々出来、若者がいない、子供がない、学校がなくなり、寂しい、寂しい町になる。三つでも二つで栽し、笹ヶ丘公園の整備からしてい。

京丹後市に14社の企業が来てくれたと新聞に載っていた。町長は企業が海外に行く時代でテクノで、たつの市、上郡町と一緒にと他人任せのようだ。

町単独では難しくテクノで、県と関係市町と生活圏、通勤圏でやつていきたい。京丹後市は立地条件が悪いと言われていたが、物造り発祥の地で高速道も整備され、舞鶴港の機能充実と優遇措置で、企業誘致が進められている。

雇用も増え、集落の活性化にもつながり、草刈、道作り、溝掃除、祭り、町、集落の各行事ができる。それが若者が街へ出てしまい、出来なくなっている。

働く場所同様に企業からすると、労働力を確保できるかが課題であり、佐用町のまちづくりが問われている。

町長 まず、毎年20本植栽し、笹ヶ丘公園の整備増と、森作りを。山の遊歩道横を整備するなどして、笹ヶ丘の利用も誘致せんとアカン。

思い出の森作り

問 笹ヶ丘莊山頂の浅瀬

町長 まず、毎年20本植栽し、笹ヶ丘公園の整備増と、森作りを。山の遊歩道横を整備するなどして、笹ヶ丘の利用も誘致せんとアカン。

地域防災力の向上を



町長――地域と一体となり防災の推進を図る

問 大阪府北部地震では、小学校のブロック塀が倒壊し、通学中の女子児童が亡くなられた。

本町では、ブロック塀や、危険個所の点検等の対応を素早くされたが、結果とそれ以降の対応は。

町長 全ての学校で点検を行った。三河小学校では撤去後、転落防止のネットフェンスを設置する予定。

問 通学路については確認していないか。

町長 通学路はブロック塀だけでなく、毎年PT

△など一緒になって確認している。

問 町内の通学路にも地上げをしてその上にブロック塀が設置してある危険な場所がある。

東京都の国分寺市ではブロック塀の撤去に対しが、一方で情報が多く負担が大きい。どのように作成するのか。

町長 でも対応が必要ではないか。

ユアルはあるか。

企画防災課長 集落内放送は整備しているが避難行動マニュアルは全ての



▲身近に点在する ブロック塀

集落で作成されているわけではない。要支援者の避難計画作成説明会に参加した。個別プランの内容は素晴らしいが、一方で情報が多く負担が大きい。どのように作成するのか。

健康福祉課長 早めの避難を考え、常に自治会で顔の見える関係を作つていただきたく、自治会、民生委員等の関係者に計画を作成してもらいたい。

問 町が持つている情報を出せないかとの発言が出た。個人情報の取り扱いは難しいと思うが、対応出来ないか。

健康福祉課長 目的について同意してもらつていいので、出せる情報と出せない情報とがある。

町長 7月豪雨災害では商工会青年部や社協のボラ



▲想定を超えた災害状況(高梁市)

ンティア活動に何度か参加した。2階天井まで浸水していく天井を剥がすような作業をしてきた。佐用でもこのような事が起こる可能性があると想定して備えをすることが必要ではないか。

町長 ハザードマップなどを科学的に分析し対応していく。

災害検証委員会による提言への対応は

町長 — 繼続して取組んでいる



ちくさ
千種
かずひで
和英 議員

問 今年の来場者数は、
少。 町長 来場者の減少、滞
在時間の短縮等により減
少したと考える。ただ運

問 物産テント村の販売
状況は。 町長 全体の来場者数
は、台風と酷暑の影響に
より6万9千人（前年比
3万7千人減）、ひまわり
祭りは5万人（前年比3
万人減）であり、大幅に減

訂正
議会だより第48号一般
質問（千種議員）の記事の
表題で『児童・生徒のキャ
リア教育をどう考えるか
に教育長答弁として、小
中学校の教育では不可
能』との掲載をしていま
すが、『小中学校のキャ
リア教育については、キャ
リアノートを基にした取
り組み等をされており、
隠岐島前高校のような高
校教育の取り組みについ
ては不可能である』とい
う意味でありますので
訂正いたします。

問 提言への対応は実施
し、継続できているのか。
町長 多岐にわたる様々な課題はあるが、町全体で取組み、現在も各課常業務の中で継続している。

町長 自助、共助の推進が減災の基本である。提言にはない水防法及び土砂災害防止法の一部改正に対応等見直しをしている。

問 住民への意識啓発は。
企画防災課長 防災リーダー研修の実施等に取り組んでおり、自主防災組織も増えた。今後も時間経過とともに防災意識の薄

れることのないよう人材育成とともに努める。
問 ボランティアの登録、リーダーの育成は。
企画防災課長 社会福祉協議会が担当であるが、登録制度は継続している。リーダー育成研修はできていないが、今後考えるのではないか。

問 防災士資格取得の支援は。
企画防災課長 資格試験の情報提供等は行ってい
る。

問 南光ひまわり祭りの結果と今後の取組みは。
町長 今年の来場者数は、少。 町長 全体の来場者数は、台風と酷暑の影響により6万9千人（前年比3万7千人減）、ひまわり祭りは5万人（前年比3万人減）であり、大幅に減



▲被災地支援活動の新聞記事
(神戸新聞より)



▲佐用町自慢のひまわり畑

問 対しては各種改善の取組みを工夫した。しかしまだ課題はあると考える。来年度以降の取組みは。
町長 ひまわりは、佐用町にとって知名度や集客力が非常に大きく、観光や農業に大きな役割を担つております。継続する。

障害者雇用の実態は



町長——法定雇用率は最低限度の基準

問 中央官庁における障害者雇用の水増し問題が地方公共団体にまで波及している。本町における法定雇用率と、その人数はいくらになるか。

町長 法定雇用率は2.5%で、人数は9人。

問 本町においては、法定雇用率は満たされているか。

町長 本町の雇用率は2.56%であり法定雇用率を満たしている。

問 雇用した方の障害の有無やその程度を障害者手帳等により確認している。

町長 採用時・認定時に障害者手帳の提示を求め、写しも取って確認している。

問 社会福祉協議会等の団体や、町内の事業所における障害者雇用の実態は把握しているか。

町長 調査する権限がないが、非常に難しい現実がある。

福祉の向上に取り組む考えはあるか。

町長 障害者が能力と適性に応じた雇用に就き、自立した生活を送ること

は、大切なことと思っているが、障害者に合った雇用の場を提供することが、非常に難しい現実が

ある。

城跡、御殿屋敷などの草刈り・雑木などの伐採などを行なうべきではないか。

町長 年2回の草刈りに33万円の補助を出し、御殿屋敷も含め、樹木の伐採等、景観の保全に努めている。

平福大字管理委員会等の地道な活動が、国指定にもつながり感謝している。高齢化は認識している。後継者の確保に尽力してもらいたい。

町長 全面的な改修の必要はない。

無電柱化は60年代に検討したが、コスト・技術面などの課題があり、現在でも難しい。

町長 カラー舗装は歴史的な景観にはそぐわない。

利神城跡等の景観保全について

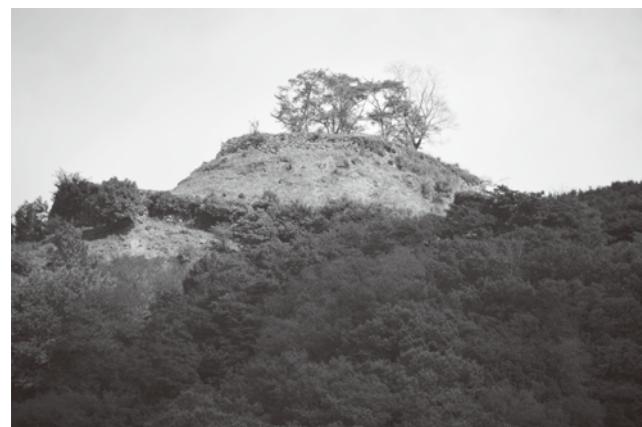
問 利神城跡や御殿屋敷の石垣が草や雑木などで見難くなっている。利神

町長 独自でさらに積極的に障害者の雇用促進・

問 利神城跡や御殿屋敷の石垣が草や雑木などで見難くなっている。利神



▲御殿屋敷跡の石垣



▲利神城跡の石垣

こだままさよし
児玉雅善議員

委員会付託案件の審査報告

産業厚生常任委員会（9/14）

産業厚生常任委員会

委員長 加古原 瑞樹

佐用町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

■町道路線の認定について

変更（約150m）。2路線とも生活道としての利用が多くなったため、変更するものです。

上石井地域の寺下線（延長105m、幅員5m）。

三日月地域の祇園西村線（延長330m、幅員11.8m）の2路線で、生活道としての利用が多くなったため、町道として認定するものです。

結果・全員賛成 可決

厚生労働省令が一部改正されたことに伴い、関係条例の規定を整備するため町条例の改正をするもので、改正される内容は、

①家庭的保育事業等の職員が病気等で保育できない場合、代替保育を提供する連携施設の確保が困難な場合、一定の要件を満たせば特例を認める。

結果・全員賛成 可決

②食事は施設内調理が原則だが、特例として連携施設や同一法人、町が認める事業所で調理したものは、搬入できる。

③自園調理に関する規定を猶予する経過措置が5年から10年に延長になる。

上石井地域の溝線は起點を山裾から、ゆうあいしい前に変更する（延長約530mを、約480mに）。溝下夕線は溝線に繋げるため、終点を

■町道路線の変更について

結果・全員賛成 可決

三日月地域の祇園西村線（延長330m、幅員11.8m）の2路線で、生活道としての利用が多くなったため、町道として認定するものです。



▲上石井地域町道溝線 現地調査



▲三日月地域町道祇園西村線 現地調査

委員会の活動

上月地域にある畜産施設の現地調査

(8月9日)

産業厚生常任委員会

委員長 加古原 瑞樹



◆ 西新宿にある畜産施設等を現地調査



上月地域にある3施設に加え、新たな畜産施設が整備されるということから、現地調査を行いました。主に家畜排せつ物の適切な処理や、飼育環境を含めた臭気対策など、適正に管理されているか調査を行いました。

担当課である農林振興課の説明では、町では年2回、施設周辺の水質検査を行っており、また、臭気など畜産環境問題への対策についても、事業者への指導を行なうなど、しっかりと連携がとれている事を確認しました。

兵庫県町議会議長会広報研究会に参加

(8月17日)

議会広報特別委員会

委員長 竹内 日出夫

議会広報特別委員会は
8月17日、県民会館で兵
庫県町議会議長会主催の
広報研究会に参加しまし

た。この研修会では「住
民と議会をつなぐキーマ
ン」と題しての講演とク
リニックを広報アドバイ
ザーとして活躍中の長岡

光弘先生より受けました。
県内8市町の議会広報
誌を教材に、住民に読ん
でいただくために、分か
りやすく、見やすくなる
ため、見出しの作成や配
置、写真の使い方など、
広報誌の編集のポイント
を学びました。



▲広報研究会(県民会館)

組合議会報告

播磨高原広域事務組合
にしはりま環境事務組合

播磨高原広域事務組合

組合議会議員
金谷 英志

□定例会開催(7／23)

播磨高原広域事務組合
議会は7月23日に開かれ
正・副議長の選出、同意
案件3件、報告1件、専決
承認1件、決算認定3件
が提案され、すべて可決
されました。

議長

山本守一氏（上郡町）

副議長

山本幹雄氏（佐用町）

公平委員会委員

本田吉住氏（上郡町）

監査委員

西後竹則氏（上郡町）

角田 勝氏（たつの市）

教育委員会教育長
横山一郎氏（上郡町）



▲播磨高原広域事務組合（上郡町）



▲にしはりま環境事務組合（佐用町）

□上・下水道事業会計資
金不足比率の報告

資金不足は生じていな
い。

平成29年度一般会計補
正予算(2号)、50万2千
円を増額し、4億8,76
2万4千円にする。

平成29年度一般会計決
算認定、歳出4億6,70
4万6487円。
平成29年度上水道事業
会計決算認定、事業収入・
事業支出の算定。

□定例会開催(8／24)
組合議会議員
平岡 きぬゑ

第35回定例会議が開催
され、承認1件、同意3件
すべて可決されました。

▽承認第1号
平成29年度歳入歳出決
算認定。

監査委員
西後竹則氏（上郡町）
監査委員
伊藤大典氏（姫路市）
公平委員会委員
本田吉住氏（上郡町）

事業費4億5,593万
1,415円。
平成29年度下水道事業
会計決算認定、事業収入
・事業費3億3,384万
4,037円。

歳入は、12億731万
6,548円で、歳出は11
億8,316万4,912
円でした。差引額は2,
415万1,636円で、
次年度へ繰越となりまし
た。

なお、佐用町の負担金
は2億1,490万6千
円でした。

一般質問の録画・インターネット放映始まります！

議会運営委員会

佐用チャンネル 12月の一般質問の模様を1月に2回に分け
て録画放映します。

インターネット パソコンからもご覧いただけます。

佐用町の公式ホームページから、佐用町議会をクリックして頂き、
一般質問の録画映像をクリックしてご覧ください。



なお、9月の一般質問を10月3～5日、10月10日～12日に放送しました。

インターネットでは、12月まで9月の一般質問の模様をご覧いただけます。

第7回議会報告会 ~ご案内~

「みんなの声」お聞かせください

佐用町議会では、開かれた議会を目指して議会報告会を開催しています。

町民のみなさんに直接関係する事業や決算を、議会ではどのように審議し採決したかなど定例会の内容を報告しますので、「みんなの声」をお聞かせください。



お近くの会場に是非お越しください！

テーマ

- ① H29年度決算の概要
- ② 意見交換会

11月8日 (木)

- ・江川文化センター
- ・三河ふれあいセンター

11月9日 (金)

- ・久崎地区センター
- ・ふれあいの郷みうち
「若杉館」

11月12日 (月)

- ・上石井倶楽部
- ・幕山地区センター

11月13日 (火)

- ・南光文化センター
- ・佐用町地域福祉センター

11月26日 (月)

- ・長谷地域交流センター
- ・さよう文化情報センター

11月27日 (火)

- ・上月文化会館
- ・三日月文化センター

11月28日 (水)

- ・中安ふれあいセンター

各会場
午後7時から
約1時間30分

10 7 5 4 12
11月
(月) 産業厚生常任委員会
一般質問

12月定期休会の休期

21 14 12 11
14 (火) 本会議 (議案上程)
14 (水) 総務常任委員会
※ 14 (金) 産業厚生常任委員会
一般質問
14 (火) 一般質問
14 (水) 一般質問
14 (金) 本会議 (質疑)
14 (金) 本会議 (討論・採決)
※ 一般質問の模様は佐用チャーナルで放映します。

表紙写真によせて

10月22日に行われた商工青年部（部長川田嘉男さん）の「マイアルキシズ」では、建築や服飾、医療、警察、新聞記者などの仕事体験が行われて、地域の子どもたちにキャリア形成の機会が提供されていました。

医療スタッフのみなさんや子どもたちの楽しそうな笑顔が印象的で、こんな明るい雰囲気だと診の気持ちも和らみました。



今回、88名の参加があり、子どもたちは希望する3職種を体験しながら、それぞれの仕事を学んでいました。

高学年になり初めて参加したなかいゆきちゃん（4年生）も、臆病器を使いながら問診やギブス固定、松葉づえ歩行などの

医療体験に興味津々で、将来の仕事を考えたい経験になつたみたい。

指導にあたつていねい

医療スタッフのみなさんや

子どもたちの楽しそうな

笑顔が印象的で、こんな

明るい雰囲気だと診の

気持ちも和らみました。

の日の保育園、幼稚園、小学校、中学校の運動会も雨で延びることなく、それだけ元気な姿で開催され、10月には、各地区で秋祭りが行われました。町内で活発に行事が行われ、皆さん地域のために努力をされている姿を、とてもたくましく感じています。

じてこお。

9月議会におよおいても、議員全員で地域のために審議いたしました。

49号議会だより発行にあたり、出来ただけわかりやすい表現に努めてまいりました。今後も議会活動にご支援をよろしくお願い致します。

金澤 寿郎

編集後記



議会広報特別委員会
委員長 竹内口出夫
副委員長 金澤 勇
委員 小林 幸
委員 岩廣利一
委員 石堂 裕和
委員 基母田也